PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

58-026229

(43)Date of publication of application: 16.02.1983

(51)Int.CI.

G01H 1/00

G01M 15/00

(21)Application number: 56-125711

(71)Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO

LTD

(22)Date of filing:

10.08.1981

(72)Inventor: MAKI ICHIRO

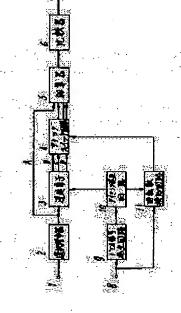
MIURA KENZO

(54) DETECTOR FOR KNOCKING

(57)Abstract:

PURPOSE: To improve the S/N of signals and to make detection of revolutions up to high speeds possible by adding oscillation pickup signals having periodicity synchronously, and changing the synchrous addition times thereof according to the rotation number of an engine.

CONSTITUTION: Oscillation pickup signals having periodicity are synchronously added and the times of the synchronous addition thereof are changed according to the rotation number of an engine. For example, the oscillation pickup signals applied to an input terminal 1 are amplified with a selective amplifier 2, and are inputted to a delaying element 3 of which the delaying speed is variable by the signal of a timing generating circuit 10. The specific signal past an analog switch circuit 4 which is opened or closed according to the rotation number by the output of a detecting circuit 11 for the rotation number and the undelayed signal A enter an adder 5, by which these signals are synchronously



added at every ignition. When the knocking signal obtd. by such synchronous addition is above the specified value, a comparator 6 decides said signal as knocking, and emits an output signal to an output terminal 7 for detection of knocking.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(JP) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

[®]公開特許公報(A)

昭58—26229

⑤Int. Cl.³
G 01 H 1/00
G 01 M 15/00

識別記号

庁内登理番号 6860-2G 6611-2G 砂公開 昭和58年(1983)2月16日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全.4 頁)

匈ノッキング検出装置

②特 .

願 昭56-125711

20出

图56(1981)8月10日

⑫発 明 者 槇一郎

横浜市港北区綱島東四丁目3番 1号松下通信工業株式会社内 ⑫発 明 者 三浦研造

横浜市港北区網島東4丁目3番 1号松下通信工業株式会社内

切出 願 人 松下電器産業株式会社

門真市大字門真1006番地

⑫代 理 人 弁理士 中尾敏男 外1

明 細 {

1、発明の名称

ノッキング検出装置.

2、特許額求の範囲

エンジンの振動を検出する振動検出器と、上記エンジンの点火タイミングに同期して上記振動検出器の出力を超延させる超延手段と、この超延手段の出力と上記振動検出器の出力とを加算する加算器と、この加算器の入力数を上記エンジンの回 医数に応じて切換える回路と、上配加算器の出力レベルを規定値と比較する比较器とを有するノッキング検出装置。

3、発明の詳細な説明

自動車などにおけるエンジンのノッキングはエンジン扱効を観測し、ノッキング特有の扱効から 検出できる。ところでノッキング以外の扱効雑音 は、エンジン回伝数が高くなるにつれて増大する ため、高速回伝に於るノッキング検出は困難であ った。

この点を第「図及び第2図を用いて説明する。 第1図 a ~ c はエンジンの低速状態(例えば800 rpm)に於る特性図を示し、第2図 a ~ c は高速 状態(例えば 4000 rpm)の特性図を示す。第1 図 a 及び第2図 a はコンタクト・ポイントのタイ ミング信号で立上り時は点火時期である。第1 図 b,第2図 b はエンジン本体に設置された振動に ックアップの信号である。

第1図c、第2図cはノッキングが発生するタイミングに設定されたノッキングゲートを扱わし、信号が、「HJの期間にノッキング信号が入る様に、タイミングの位置が設定されている。たとえば、3気筒エンジンに於ては、点火時間をO°クランアングル(以下°cA°と扱わす)とすると、ノッキングの発生するタイミングは

30°cA~ 80°cA

であるから、この位置にノッキングゲートが設定。

持開昭58- 26229(2)

本発明は、振動ピックアップ信号に含まれるノッキング信号と雑音とのS/Nを大きくすることにより、ノッキング検出を高速回転まで正確に行なりことを目的とするものである。

本発明は周期性を有する扱動ビックアップ信号を p 同同期加算を行なりことにより、S / N を j n 倍とし、S / N を 大幅に向上させるものである。 エンジンのノッキングは前に述べた様に、たと

増巾器、3はB·B·D(Bucket Brigade Device) の様な遅延来子、4はアナログスイッチ回路、5は加算器、8は比較器、7はノッキング検出出力端、8はコンタクトポイントで点火タイミングの入力端である。9は1°cA信号生成回路で、たとえば3気筒では点火から点火タイミング信号の一周期を240°cAであるから、点火タイミング信号の一周期を240°cAできる。10cA信号路で、1°cA信号生成回路9の1°cA信号路で、1°cA信号生成回路9の1°cA信号上り、遅延累子3の遅延速度を定めるクロック中回転数を検出するためのタイミングをつくる。

第4図に於て、入力端1に印かされた振動ビックアップ信号は、選択増巾器2で増巾され、選延 者子3に入る。基延末子3はB・B・D(Bucket . Brigaded Device)の様にタイミング発生回路 1〇からの信号により遅近速度が可変できるもの であり、遅延素子3によって遅延された振動ビックアップ信号B・C・Dはフナログスイッチ回路4

本発明の一実施例を第4四及び第5回を用いて 説明する。本実施例は3気筒エンシン用の例である。なか本実施例では、周期加算の回数を第3回 の様に1500でpmまでは2回、1500~3500 rpmでは3回、3500でpm以上では4回とする。 第4回に於て、1は振動ビックアップ(振動検 出鉄)の出力信号が印加される入力端、2は選択

に入力する。アナログスイッチ回路 4 は回転数検 知回路 1억 の出力により、回転数に応じてブナロ グスイッチを開閉する。従って遅延された孤粉ピ ックアップ信号 B⋅C⋅D のうち、回転数に応じて 特定の信号のみがアナログスイッチ回路 4 を通る。 たとえば 1 500 r pm までは 1 遅延信号 B のみが アナログスイッチ回路 4 を通り、1500~ 3500 ₹pmでは1選延信号B及び2遅延信号Cが通り、 3600 rpm以上では、遅延信号B·C·D が アナロ グスイッチ回路 4 を通るo このように遅延された 信号のうち、回転数に応じてアナログスイッチ回 路4を通った信号と、遅延されない扱動ピックア ップ信号Aとが、加算器5に入り、第5図の様に 点火ごとに同期加算される。但し第5図でば、凹 転数が 1500~3500 rpmの場合を示し、3回の 同期加算されたノッキング信号が規定値以上のと きノッキングと見なし、信号を「HJにして、ノ ッキング検出出力端でに出力信号を出す。

第5図及び第6図はそれぞれ本発明の実施例に

特開昭58- 26229(3)

かける加算器 6 の加算内容を示している。第 6 図では、同一気筒でとの振動ビックアップ信号を加算している。また第 6 図では点火でとの振動ビックアップ信号を加算している。

本発明は上記のような構成であり、同期加算回数を回転数に応じて換えているため、信号のS/Nが向上し、信号の検出時間が短くなり、ノッキング検出が高速回転まで正確になる利点を有するものである。

なお上記実施例では3気筒エンジンについて述べたが気筒数に関係なく、たとえば4気筒、6気筒に於ても同様に行なえるものである。

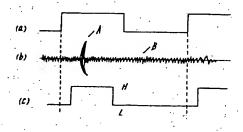
4、図面の簡単な説明

第1図a, b, cは従来のノッキング検出装置の低速回転における各部の放形図、第2図a, b, c は同装置の高速回転における各部の放形図、第3図は本発明の一束施例におけるノッキング検出装置の回転数に対する同期加算回数を示す図、第4図は同装置のプロック図、第6図は同装置の動作説明図、第6図は本発明の他の実施例の動作説

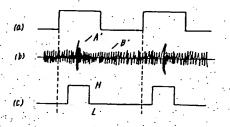
明図である。

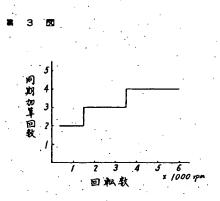
1 ・・・・・ 入力端、 2 ・・・・ 選択増申器、 3 ・・・・・・・・・ 連延素子、 4 ・・・・・ アナログスイッチ回路、 5 ・・・・・ 加算器、 6 ・・・・・ 比較器、 7 ・・・・・ ノッキング検出出力端、 6 ・・・・・ コンタクトポイント、 6 ・・・・・ 1 ° cA 信号生成回路、 1 O ・・・・・ タイミング発生回路、 1 1 ・・・・・ 回転数検知回路。 代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

👣 1 🛭

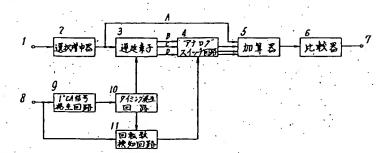


a 2 **b**





第 4 図



· 5 区

					٠.	٠.		•	100	
入力	A 🗆	. 5.	3" 1	2 3	1	Z'	3.	1-	2"	A 15 - 1
1選進	B []	2-	J" /-	2* 3	1	7	3		2'	
2 连延	C[/	2-	3- /-	7" 3	1.	2°	3°	1	2	
加革器	λħ{-1.1.7	2.2.2	3.1.1.	2.2.2.	Telet.	7.1.7	3', 3, 3	1.11.1		1:1天狗 2:2 ~ 3:3 ·

8 6 S

入力 A		2.	3.	1	2	3	ľ	7'	3'		
1選廷 B	1	1.	2.	3.	/	7	3	1	2"		1:1六角
2 34 C	2	3"	1.	2-	3-	7	2	3	7	:	2: 7
加革各入力	7:377	2:/:3"	3.2.1.	1.3.2.	2.1.3	3.7.1	1:3:2	2:1:3	3'12'11	•	3:3 -